事務事業評価シート2(一般事業)

1 基	本情報		事業番号	0340/5015	05/01/	00	事業0	D類型	4
年度	19 事務事業名	中学校管理		作成日	平成	21年1月	20日	重要度	5
予算	事業名	中学校管理一般	事務経費	担当部課名					
政策	名	愛着と生きがいる	を育むまちづくり	担当即缺石			教育委員会 管理課		
施策	名	小·中学校教育		実施計画への	記載	無	主要事業	業の指定	無
根拠	法規及び関連法規								
事	誰のために(具体 的に)	学校施設							
業の目	誰(何)を対象として	施設運営							
的	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設運営	により、教育環境を整え	.3					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	中学校施設の管理事務経費						
, _T	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画		
活動	学校数	校	4	4	3	3		
実	生徒数	人	782	830	823	844		
績	学級数	クラス	31	33	28	32		

3 投入	資源	会計区分	一般会計					事業費	単位:円_
インプット	指標	17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
人員	主幹以下職員	0.030	0.030	100.0	0.030	100.0	0.030	100.0	
	臨時職員	0.600	0.600	100.0	0.600	100.0	0.600	100.0	
支出内	人件費	2,671,781	2,485,454	93.0	2,525,676	101.6	2,559,247	101.3	
訳	事業費	6,506,805	5,610,447	86.2	4,737,574	84.4	3,924,000	82.8	
ш	合計	9,178,586	8,095,901	88.2	7,263,250	89.7	6,483,247	89.3	
	国庫支出金			_		_		_	
	県支出金			_		_		_	
財源内	市債			_		_		_	
訳	その他			_	·	_		_	
	一般財源	9,178,586	8,095,901	88.2	7,263,250	89.7	6,483,247	89.3	
	合計	9,178,586	8,095,901	88.2	7,263,250	89.7	6,483,247	89.3	

4 評価指標 【有効性】

E 137731-12	THAIL!								
指標名1									
指標説明	(式)	義務教育の根幹	である中学校が	施設の一般	设管理経費で?	ある			
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			_		_		_	
	実績			_		_			
	24124								
指標名2	, , , , , ,								
指標名2 指標説明									
	(式)	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
指標説明	(式)	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考

【効率性】

指標名1		生徒1人当たりコ	スト						
指標説明	(式)	事業費決算額/	生徒数						
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
千円	実績	8,321	6,760	81.2	5 75 <i>6</i>	85.1	4,649	80.8	
111	天限	0,321	0,700	01.2	5,756	00.1	4,049	00.0	
指標名2	天根	1校当たりコスト	0,700	01.2	3,730	00.1	4,049	80.8	
				01.2	5,756	00.1	4,043	60.6	
指標名2	(式)	1校当たりコスト	4校、3校	前年比				前年比	備考

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当 性	義務教育施設であり、目的に合致し妥当性はある	5	5
ХПЕ			ŭ	Ü
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成されている	4	4
	市民サービス	現状を維持している	4	7
効率性	コストの節減	ほぼ限界にきている	4	4
<i>≫</i> ∓IT	手段の最適 性	学校事務職員との意思の疎通が、より効率性を高める	7	7

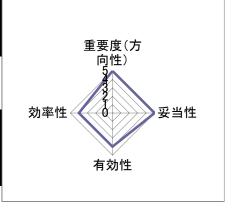
6 課題として認識された点

ı	評価視点	具体的な評価観点	内容
	有効性		引き続く経費の削減により、成果の向上は望まれないので、 現状維持に創意、工夫が必要

7 事業の改革改善 Action

(1)評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

· / = : 1 - 1	H-11-E-11-	
評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	大規模校の配当額を減額し、小規模校へ回す
H19→H2	20予算反映額	



(2)20年度の実施方針

検討の有無	ı
総合指標	25.5